

A棟（外来診療棟・病棟）

※令和6年(2024)1月完成・9月稼働開始



- ・工期：令和2年3月～令和6年1月
- ・延面積：28,844㎡
- ・構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 免震構造
- ・階数：地上8階・地下1階建
- ・病床数：112床（うち、HCU：8床）

特徴

医科歯科連携による特色ある診療の推進

- ・患者さんの全身管理を行える医療機関として歯科外来フロアへ手術室を整備
- ・小児外来（小児科・小児外科・小児歯科）の集約化

重症ユニットHCU（高度治療室）の整備による高度急性期医療の機能強化

- ・HCUの整備（8床）：ICUのバックベッド、循環器に特化した運用

がん診療連携拠点病院としての機能強化

- ・外来化学療法室の拡充：既存11床→21床
- ・外来化学療法室・腫瘍センター・緩和ケア・患者サロンを同じフロアに集約

外来部門における低侵襲治療の推進及び機能強化

- ・内視鏡検査室の拡充：既存4室→5室
- ・透視検査室の整備（2室）
- ・既存診療科ごとに分かれていた診察室を共用化



外来総合待合ホール



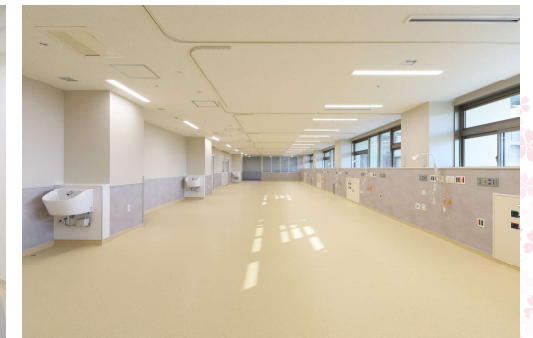
小児外来エリア



外来化学療法室



歯科診察室



HCU